

太閤ファイルの保存場所を効率的に設定する方法



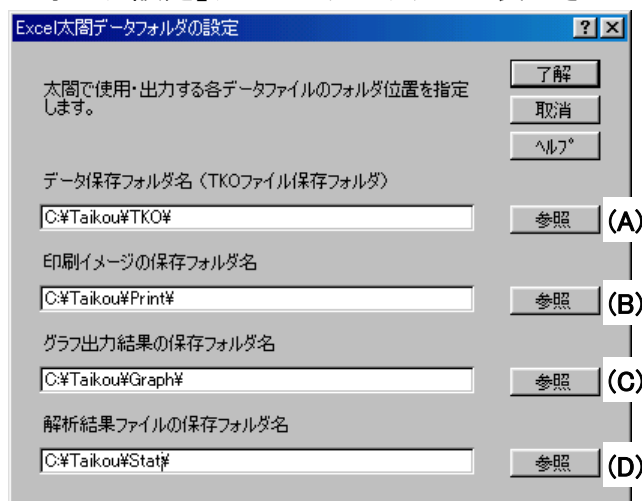
太閤で印刷イメージファイルや、グラフ出力ファイルのできる場所が判らなくなることがあるのですが何か良い方法はありませんか？



太閤では出力されるファイルの種類ごとに予め出力先フォルダ位置を初期値として指定する機能があります。これを上手に活用すると作業がとても楽になります。

①出力フォルダ位置の初期値設定方法

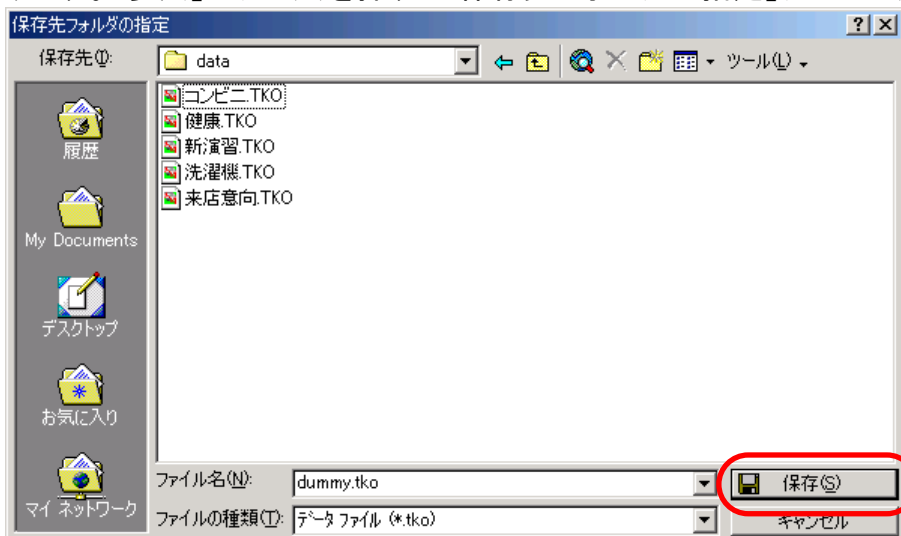
- 1.Windows の「スタート」メニューから「プログラム」「Excel アンケート太閤」を選択します。
- 2.Excel アンケート太閤が起動します。起動後に太閤メニューの「ファイル」から「フォルダ設定」を選択します。
- 3.「フォルダ設定」ダイアログボックスが表示されます。



(1)「データ保存フォルダ名」

太閤データファイルの保存フォルダを指定します。

ここ設定したフォルダが、太閤メニューの「ファイル」-「読み込み」で最初に表示されるフォルダになります。「参照」ボタン(A)を押すと「保存先フォルダの指定」ダイアログが表示されます。

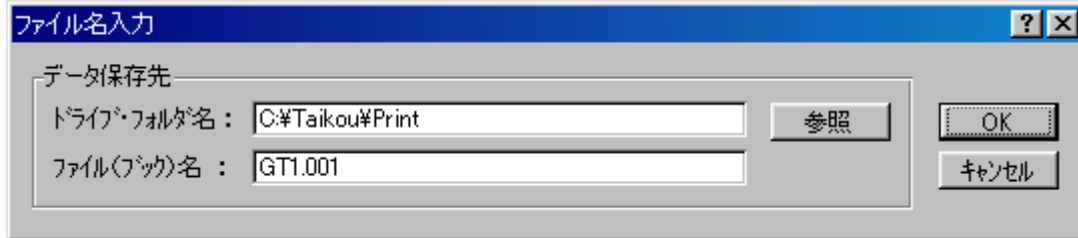


ここで保存先フォルダを指定して、「保存」ボタンを押します。(このフォルダで表示される保存ファイル名はダミーなので、どのファイルが指定されていても問題ありません)

(2)「印刷イメージの保存フォルダ名」

単純集計・クロス集計の印刷イメージをファイルに出力する場合、出力先フォルダの初期値ここで設定します。「参照」ボタン(B)を押すと、「保存先フォルダの指定」ダイアログが表示されます。ここで、保存先フォルダを指定して、「保存」ボタンを押します。(このフォルダで表示される保存ファイル名はダミーなので、どのファイルが指定されていても問題ありません)

※印刷実行時に出力先を「ファイル」に指定すると下記のダイアログが表示されます。



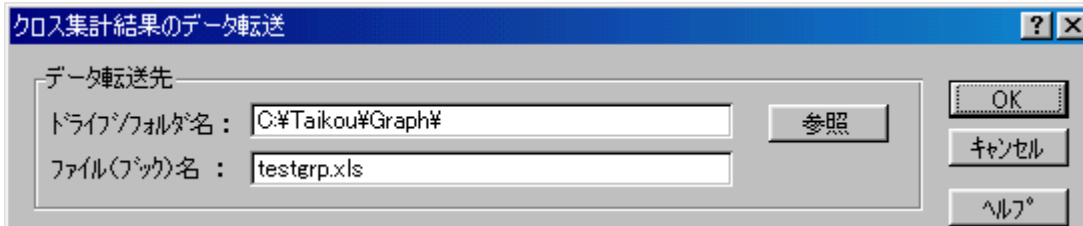
このときの「ドライブ・フォルダ名」に「印刷イメージの保存フォルダ名」で設定したフォルダ名が表示されます。(ここで「参照」ボタンを押してデータ保存先のフォルダ名を変更することも可能です)

(3)「グラフ出力結果の保存フォルダ名」

単純集計・クロス集計の結果をグラフ化する場合のグラフ出力結果を保存するフォルダの初期値をここで設定することが出来ます。

「参照」ボタン(C)を押すと、「保存先フォルダの指定」ダイアログが表示されます。ここで、保存先フォルダを指定して、「保存」ボタンを押します。(このフォルダで表示される保存ファイル名はダミーなので、どのファイルが指定されていても問題ありません)

集計版からグラフ版へ、グラフ作成用データ転送時に以下のダイアログが表示されます。



このときの「ドライブ/フォルダ名」に「グラフ出力結果の保存フォルダ名」で設定したフォルダ名が表示されます。(ここで「参照」ボタンを押してデータ保存先のフォルダ名を変更することも可能です)

(4)「解析結果ファイルの保存フォルダ名」

解析編で太閤データを統計解析処理したデータの出力結果を保存するフォルダの初期値をここで設定することが出来ます。

「参照」ボタン(D)を押すと、「保存先フォルダの指定」ダイアログが表示されます。ここで、保存先フォルダを指定して、「保存」ボタンを押します。(このフォルダで表示される保存ファイル名はダミーなので、どのファイルが指定されていても問題ありません)

②「グラフ出力」「解析結果」出力の詳細設定

(1) グラフ出力時の詳細設定（結果表示前にデータを保存する方法）

単純集計/クロス集計のグラフ出力時に

「単純集計結果のグラフ指定」「クロス集計結果のグラフ指定画面」(グラフ編メニューの「グラフ」内にある「グラフ作成」を選択する)の「出力先指定」ボタンを押します。

単純集計のグラフ指定画面

単純集計結果(単一)のグラフ指定

不明、非該当の処理
 不明を表示
 非該当を表示

改頁指定
 改頁コード入れる
 入れない

出力先指定 OK

全集計表同じグラフに

このボタンを押す

クロス集計のグラフ指定画面

クロス集計結果のグラフ指定

不明、非該当の処理
 不明を表示
 非該当を表示

改頁指定
 改頁コード入れる
 入れない

出力先指定 OK

全集計表同じグラフに

「グラフ出力先の指定」ダイアログボックス

グラフ出力先の指定

出力先
シート指定
新規シートに出力したい時には「新規」を選択します。

新規
グラフ

描画開始位置
1 行
1 列

グラフサイズ
高さ 21 行
幅 9 列

グラフエリア
 固定
 可変

グラフの保存
 結果の表示のみ
結果を保存後に表示

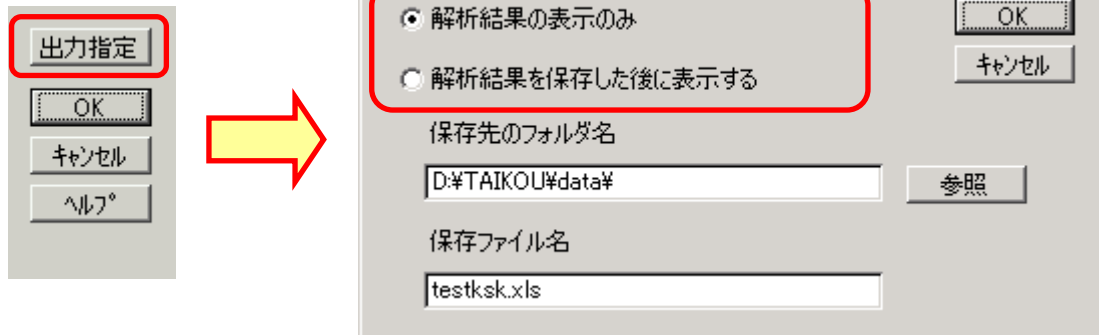
OK
キャンセル
ヘルプ

この画面が表示されます

すると、上図の「グラフ出力先の指定」ダイアログボックスが表示されます。このダイアログ右下にある「グラフの保存」設定で、「結果を保存後に表示」を選択しておく、指定したグラフは、一度ファイルに保存された後に表示されるため、グラフ出力結果の保存し忘れなどのミスを防ぐことができます。(保存しないで太閤を終了するとグラフ出力結果は失われます)

(2)解析結果出力時詳細設定

各解析処理の詳細を指定するダイアログボックスにある「出力指定」ボタンを押すと、以下のダイアログが表示されます。



各解析ダイアログボックスの「出力指定」ボタンを押す

「解析結果の出力指定」ダイアログボックスが表示される

ここで「解析結果を保存した後に表示する」を選択しておく、解析結果は、一度ファイルに保存された後に表示されるため、解析結果の保存し忘れなどのミスを防ぐことができます。(保存しないで太閤を終了するとグラフ出力結果は失われます)。

③出力フォルダ位置の初期値設定の効果的な使用法

一度に複数のアンケート調査を行わない場合には、アンケート集計・解析作業を開始する時にフォルダを新規作成し、出力フォルダ位置を全てこのフォルダに設定します。これにより、ひとつのアンケートデータファイルにより作成された、集計結果／グラフ出力結果／解析結果は全て同じフォルダ内に格納されることになり、ファイル管理が非常に簡単になります。「あの出力結果何処行った?」などのファイルの迷子を出さずに済むようになります。

④保存ファイル名についての注意点

(1) ファイルの上書き保存に気をつけて

それぞれの保存ファイル名をデフォルト(初期値)のまま出力していると同じファイル名のため、出力結果を上書きしてしまいます。上書き時に以前作成されたデータファイルは削除されてしまいますので、気をつけてください。

(2) 保存ファイルの拡張子について

「保存フォルダ名」は、拡張子を付けなくても自動的に太閤システムが付加します。

・解析結果の保存ファイル名／グラフ出力結果の保存ファイル名の場合

保存ファイル名に、例えば「アンケートの出力」と入力しても出力時のファイル名は「アンケートの出力.xls」となります。(エクスプローラの表示オプションが「登録されているファイルの拡張子は表示しない」に設定されている場合には「.xls」部分は表示されません)

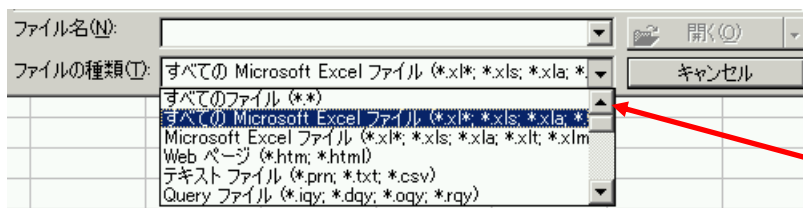
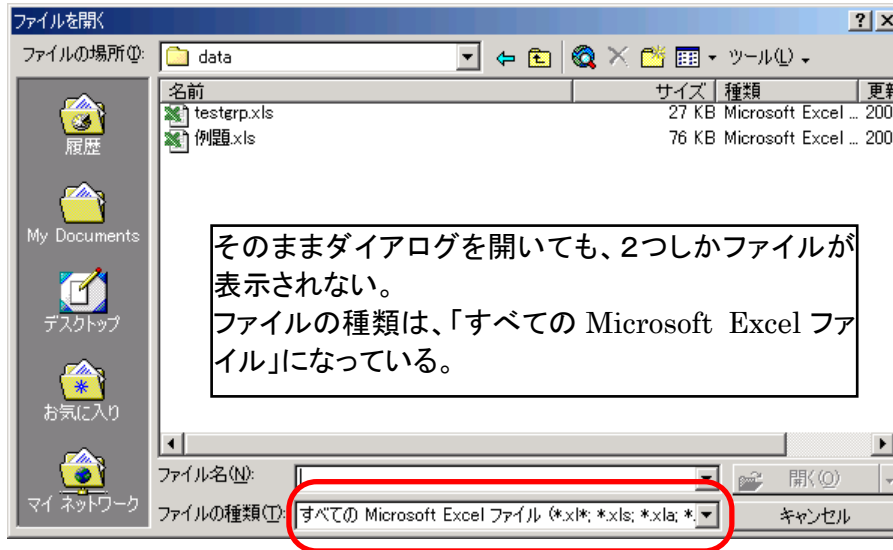
・単純／クロス集計結果の保存ファイル名「ファイル(ブック名)」の場合

単純集計／クロス集計結果などは、保存ファイルに格納される印刷イメージデータが大きい場合があるために、通常の Excel のブック名とは異なった拡張子名を付加し、印刷イメージが 50 ページ毎にファイルを分割して出力します。

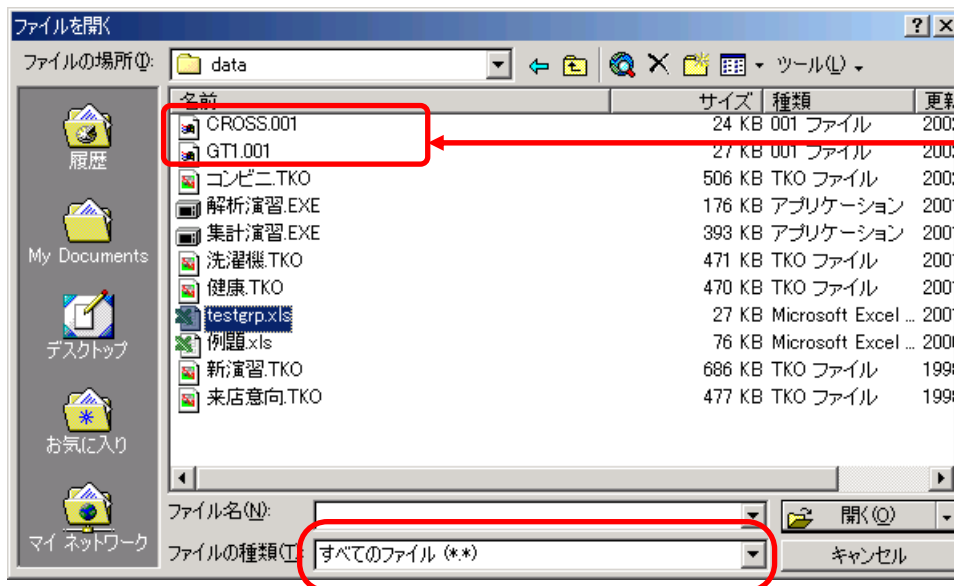
例えば、出力イメージが 180 ページあるクロス集計結果の保存ファイル名を「印刷結果の出力」と入力した場合には、印刷イメージが 50 ページを超えるごとにファイルを分割して出力するので、「印刷結果の出力.001」「印刷結果の出力.002」「印刷結果の出力.003」という3つのファイルに分

割られて出力されます。

出力ファイルの形式は通常の Excel97 形式の Excel ブックファイルなのですが、拡張子が通常の「xls」と異なる為に、出力結果を Excel で見ようとした場合に、Excel メニューから「ファイル」「開く」を選択して「ファイルを開く」ダイアログボックスを表示させても、ダイアログ内に表示されません。表示させる為には「ファイルを開く」ダイアログボックス内にある「ファイル形式」を「全てのファイル」にする必要があります。



ファイルの種類を「すべてのファイル」に変更する。



いままで表示されなかったファイルも表示されます。

印刷イメージファイルは「001」「002」という拡張子が付加されるので、エクスプローラ等でファイル名をダブルクリックしても、Excel ファイルとして表示されません。エクスプローラ等でファイルの内容を見ようとする場合には、予め Excel を起動しておき、Excel 上に印刷結果の出力ファイルをドラッグ&ドロップすることにより表示できます。

また、エクスプローラ等で拡張子「001」「002」を「xls」に変更することも有効です。